

## 地域の発展と子や孫の未来のために

- 少子高齢化、人口減少が旧西磐井と比べ急速に進んでいる旧東磐井の活性化
- 地域に豊富にあり、伐期を迎えた森林資源を活用した中山間地の働く場、所得の場づくり
- 地域の農業、コミュニティ、景観を守り、どこでも住み続けられる地域づくり
- 企業支援と雇用の場づくりにより若者の定着を図り、結婚対策を進め、安心して子育てができる支援と環境の整備
- 病院を中心とした施設福祉、在宅福祉、障がい者福祉の充実による医療・福祉・介護の包括ケアの維持発展
- 藤沢バイパスや北上川治水対策を促進し、防災対策や社会インフラの整備による安心・安全な地域づくり
- 学校の施設整備を図り、学力を高め、クラブ活動を地域や家庭で支援する子どもを中心とした教育環境づくり
- 産金の歴史を活かした「みちのくゴールド浪漫」の日本遺産登録加入による特色ある地域づくりと観光の振興
- 世界の最先端のILC(国際リニアコライダー)の北上山地への立地による市内活性化の促進
- 宮城県との連携による産業、教育、商業、医療等の振興と道路、河川の一体的な整備の促進による境目のない地域づくり

## 沼倉けんじ プロフィール

昭和25年5月 藤沢町大籠生まれ(75歳)  
 宮城県佐沼高校卒 早稲田大学商学部卒 山一證券勤務  
 昭和52年 藤沢町職員、国際交流担当、ふじの実開設担当  
 平成5年7月 藤沢町民病院事務局長  
 平成12年4月 総務課長  
 平成19年4月 副町長  
 議会関係 平成23年11月 市議会議員(1期)  
 平成25年10月 市議会運営委員長(2期)  
 平成29年10月 市議会副議長(3期)  
 令和3年10月 市議会総務常任委員会委員長・  
 市政調査会会長(4期)  
 市議会林業振興議員連盟会長  
 その他の役職 一関地区広域行政組合議会運営委員長  
 大籠生産森林組合組合長



# ぬまくら 憲一 沼倉けんじ

沼倉けんじは思います。

●人口減少や少子高齢化の進行など、今、地域は「今のままではますます衰退する」大変厳しい将来の見通しです。

●この見通しを打ち破るためには、市政のそれぞれの分野で、スピード感を持って布石を打たなければなりません。

●そのためには、一人ひとりが「一関づくり、地域づくり」の担い手としての

意識をもって実践し、「希望を形」にし、市勢の発展のために一層頑張らなければならぬと思います。

●そして将来にわたり、この地が子や孫が進んで「住み続けたい故郷」であるために、今を切り拓いていこうではありませんか。

※議員の政策、プロフィール等は令和7年9月時点で作成したものです